

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	茅ヶ崎西浜高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	-----------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因るため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、生徒一人ひとり、より豊かな人間性をめざし、個性の伸張を図りながら、地域社会の要望にこたえうる人材の育成をめざし、3年間を見通した進路指導や充実した情報教育に取り組んできたが、今後はさらに、生徒自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることを目指した不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。また、平成28、29、30年度の3年間「プログラミング教育研究推進校」として研究開発に取り組む、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

- ①生徒が主体的に学ぶ意欲を養い、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を育む。
- ②自律的な生活態度を養うとともに、情操と創造力を育み、「気品と誇り」を身に付けさせる。
- ③生徒一人ひとりが自らの生き方在り方を見つめ、希望進路を実現できるような支援体制の充実に努める。
- ④命の大切さや他者への思いやりの心を育み、平和と人権を尊重する公民の育成をめざす。
- ⑤学校からの情報発信に努め、地域・家庭との連携を強化し、互いに支えあう社会の一員としての自覚と社会に貢献する態度を養う。

3 計画作成時点での課題

- ①中学校までの学習活動、学校行事や部活動等においてわかる喜びを享受できていない生徒がおり、授業等での主体的活動意欲に欠ける。また、活動の意図を理解できず、指示を待つタイプの生徒が多い。組織的な授業改善に取り組む、学校行事や部活動を活性化させることにより思考力、判断力、表現力を育成することが急務である。
- ②1日当たり100名を越す遅刻者がおり、基本的な生活習慣が確立されていない生徒が少なくない。また、成功体験に乏しく自己肯定感や自身の行動に対する自信を持っていない生徒が多い。
- ③将来への展望を持って計画的に学習や進路活動を行える生徒は少ない。また進路に関する情報が生徒に浸透しきれずに、希望進路の確定が遅い傾向がある。
- ④自転車通学の生徒が多く、交通事故件数や、地域住民とのトラブルは少ないとはいえない。事故防止、及び地域からの信頼を得るために交通マナーについての日ごろからの指導が必要である。コミュニケーション力については、SNSへの不用意な書き込みなど、人間関係の構築に課題を持つ生徒が一定数おり、集団生活のマナー意識を含めた規範意識の育成が課題である。また、政治的関心の乏しい生徒が多いので、有権者としての教育を推進する必要がある。
- ⑤DIG (災害図上訓練)を実施し一定の成果をあげているが、毎年入学する生徒に引き続き定着させると共に、ボランティア活動の活性化等、地域住民と助け合う態度を育成し、地域社会の一員であることを認識させる必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①課題を発見し、自ら主体的に学ぶ意欲を養い、思考力、判断力、表現力を育む。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体性の伸長を図る。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を十分に確立し、組織的な授業改善を進め、学ぶ意欲を高める。 ・ロボットプログラミングを中心にしたプログラミング教育を推進する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律を守った生徒会行事を企画立案させ、生徒の主体性を培う。
2	生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣や社会性を身に付けさせ、他者を尊重する態度を養うとともに、きめ細かな教育支援に努める。</p> <p>②部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の育成を図る。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、服装髪型については、日々の指導を着実にを行い、生活習慣や社会性を身に付けさせる。 ・様々な取り組みを通して、交通ルールの遵守・マナーの向上を図る。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率を高め、活動の活性化を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のキャリア発達をサポートできるようにキャリア教育実践プログラムを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の充実を図る。 ・インターンシップの充実を図る。 ・大学見学を充実させる。 ・キャリア計画～西浜高校の36ヶ月～に則り、計画的に生徒の希望する進路を実現する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域と連携して、信頼される学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会や茅ヶ崎市、地域自治会、保護者との連携を深め、交流の機会を増やす。 ・PTA活動の活性化を図る。 ・学校説明会では、本校生徒を通して特色等を説明し、本校への理解を深めてもらう。
5	学校管理 学校運営	<p>①安心して安全な教育環境を確立し、生徒一人ひとりが「気品と誇り」を持ち、のびのびと学習できる環境を整備し、よりよい学校づくりを進める。</p> <p>②職員全体で事故防止に取り組む。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAと協力して校内環境の整備にあたる。 ・毎日の清掃活動、節電・節水の励行、紙の節約等により環境意識を高める。 ・災害発生時にとるべき行動や正しい情報収集の仕方を理解させる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に成績処理と入学者選抜業務における事故をなくすためにマニュアルを再検討する。 ・グループを中心に職員が企画する事故防止会議を年15回以上開く。